

日本精神科病院協会  
「認知症看護通信教育課程 後期スクーリングプログラム」  
のカリキュラムの一環として当院の認知症病棟で  
実習を受け入れました。

【実習報告】

日時：平成 29 年 11 月 6 日 9:30-16:00

参加人数 33 名

担当スタッフ：院長、看護師 7 名、OT1 名

提供プログラム

講義：院長講話 認知症看護 アルコール依存症と認知障害

精神疾患と認知障害 作業療法における他職種連携の実際

見学：ドッグセラピー



【参加された受講生の感想】

今後の課題に共感し改善  
しなければならない点が  
明確になった。

患者に対し個別性が必要  
であることを再認識し  
エネルギーをもらえた。

スタッフのモチベーションを  
上げるための視点や業務改善  
事例も上げてもらい理解  
しやすく学びになった。

自分たちのところだけでない  
のだといった共感できる部分  
と気持ち新たに今後のモチベ  
ーションにつながりそうだと  
感じた

ドッグセラピーの導入は大変  
なことであったと思います。  
感激しました。

貴重なご意見  
ありがとうございました



## 【実習担当スタッフの感想】

教育担当師長



現状における当病棟での課題に対する取り組みや問題点における共感性が高くまた、ドッグセラピーなどに対する当院独自の取り組みに対し感心を示されていた。実習提供に対しスタッフ間で戸惑いや不安があった中で課題を明確にして取り組んでいるありのままの姿を提供していこうとチーム一丸となり挑んだ一日でした。実習提供後の振り返りを通し担当したスタッフ、病棟スタッフ共々達成感にみなぎった良い表情が印象的でした。実習受け入れ期間が5年間ということで残り4回・・・自分たちの認知症看護を見つめ飛躍を目標に共に頑張っていきたいと思いました。

認知症病棟主任



研修を受け入れるにあたり、どのような研修内容にすれば良いのか明確になるまで、準備に多くの時間を費やしました。まず、認知症病棟の現状と10年前との変容を分析してみました。それによって、具体的な課題が明確になったと同時に、病棟スタッフ個々の資質の高さを改めて感じる事ができました。そこを病棟の強みとしてアピールし、現状や課題を包み隠さず講義内容に組み込むことで、研修者の共感や賛同の声を多く得られたと感じています。今後も、病棟の課題を一つ一つクリアしていくことで、研修水準の向上にもつなげられるように取り組んでいきたいと思っています。



来年度も  
より良い研修内容を  
提供できるよう、  
職員一同頑張ります。